

映像	内容
<p>タイトル VTR</p>	<p>オープニングタイトル</p>
<p>スタジオ</p> <p>2S</p> <p>T 麒麟 田村裕</p> <p>T 藤井未莉佳</p>	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>藤井： 藤井未莉佳です。 さて、田村さん、2月も後半にさしかかりましたが、 待ちに待ったアレが月末にオープンするんですよ！楽しみですね！</p> <p>田村 アレ？</p> <p>藤井： 市長も以前からおっしゃっていた・・・</p> <p>田村： なんか言うてましたっけ？ 市長の話いっつも聞いてないから分からへん。</p> <p>藤井： え！本当ですか！？ 実は素敵な施設がオープンするんですよ。 千里南公園内にできるカフェなんですけど、こちら！ 「バードツリー」っていうカフェがオープンするんですよ。</p> <p>田村： え～！代官山みたいや！これ、吹田にできるの？ すげー！</p> <p>藤井： 2月27日に千里南公園の中にオープンするんですけど、 池も目の前にあって、テラスもあるそうです。</p> <p>田村： めっちゃ良いやん！</p> <p>藤井： 詳しいことはこの番組でもご紹介したいと思っているんですけど、 行ってみたいと思いませんか？</p>

田村：
もちろん行きたいですね！

藤井：
ですよ！

田村：
すごく良い時間が過ごせそう。

藤井：
と、ということで、3月後半号のこの番組の中でドーンと紹介しようと思っ
ています。スタジオを飛び出して、ここから私たちが3月後半号をお伝えし
ようと思っています。

田村：
うわー！テレビっぽい！スタジオ飛び出すやつ！

藤井：
カフェの雰囲気やメニューなど「バードツリー」の魅力をたっぷりと
紹介します。そして、千里南公園の中を歩いたりする予定ですので
番組をご覧のみなさんも、是非お時間あう方は遊びに来てください。

田村：
3月に入って、寒さも和らいできてるとおもいますから、
一緒に千里南公園で楽しみましょう！

VTR

田村：

ちびっこのみんな！やっほー！
君たちの住んでいる吹田にも、いろんな働く車があるのは
もう知ってるよね！！

藤井：

今回は私たちが、はたらく車の中から特別に、みんなの大好きな
「消防のはたらく車」を紹介するよ！

タイトル「消防のはたらくくるま」

藤井：

いきなりですが、ここで問題！
この2台はどんなはたらくくるまかな？！

田村：

簡単やね！これは消防車やろ？

藤井：

消防車といっても、いろんな種類があるのよ！！
大人のみなさんも一緒に考えましょう！
ヒントは頭に「ぽ」がつく車と、「た」がつく車よ！

正解は・・・、「ポンプ車」と「タンク車」！

田村：

ポンプ車は火事が起きた時に出動して火を消す車だ！
この車には大きなホースや水を汲み上げるポンプがついているんだ！
この大きなホースを消火栓や防火水槽にセットして、
ポンプで水を組み上げて火を消すのだ！

藤井：

ポンプ車は1分に2400リットル。
お家のお風呂約12杯分の水を出して火を消すことができるの。
ホースやはしごの他にも、閉じ込められた人を救助するための
エンジンカッターや大型油圧スプレッターも積んでいるのよ。

田村：

そしてタンク車は、今みんなが見たポンプ車に大きな水槽をつけた
消防車なんだ！

藤井：

火事が起こっている場所に到着すると、車に積んである水を使ってすぐに放水できる消防車なの。

この車にはなんと1200リットルの水が搭載されているのよ。

ポンプ車やタンク車には、分隊長、機関員、隊員の四人が乗っていて車の座る位置で役割分担も決まっているのよ。

消防署員：

Aさん「私が隊長で指示を出します。」

Bさん「私が隊員で水を出します」

Cさん「私が隊員でホースを伸ばします」

Dさん「私が機関で水を準備します」

田村：

ところで、みんなは気づいたかな？

タンク車の水がなくなって、消火栓の無い、水が手に入らない場所ではどうすると思う？

消防署員：

水が手に入らない場所でも大丈夫。

そんな時はこの水槽車が出動するんだよ！！

田村：

消防自動車の中には、大きな水のタンクを搭載した車があるのだ！それが水槽車。

藤井：

この水槽車には10,000リットルの水を搭載することができるの。

だから大きな火事や、高速道路のような近くに消火栓がない場所で起こった火事の時、この車が出動して、タンク車と連携！

2台が協同で火を消すのよ！！

そして、水槽車は大きな災害が起こって水が止まったときに、みんなに水を運ぶ大事な役割も持っているの

消防署員：

吹田のように高速道路や大きなジャンクションがある街ではこの水槽車が活躍するんだよ！！

藤井：

タンク車とポンプ車、水槽車の連携パワーで、吹田の街を守っているのね。

さあ、次の問題よ！これはどんな消防車かな？

田村：

これは簡単やね！

藤井：

正解は・・・、「はしご車」！

田村：

火事や災害が起きた時に長いはしごを使って火を消したり、人を救助するのがはしご車だ。

藤井：

はしご車の特徴は何と言っても車の上に乗っているこの大きなはしご。このはしごは、1分程でビルの13階の高さまで伸ばせるの。だから高い場所からホースで水を出して火を消したり、人を救助することができるのね。

田村：

そして、このはしごは360度回転できるのだ。動きは車の制御装置で操作したり、なんとバスケットに乗っている隊員も動かすことができるハイテクなマシーンなんだ！

藤井：

はしごを全部伸ばすと、下にいる人がこんなに小さく見えるのよ。

田村：

こんな高いところまで上がって、消防士さんたちは平気なのかな？

消防署員：

毎日訓練してるから大丈夫だよ！

藤井：

ちなみに、はしご車はポンプ車やタンク車に比べてはるかに高価なの。実はこの車で約2億円よ！！

さあ、次の問題よ！！これはどんな消防車かな？

この車はちょっと難しいから特別にヒントを見せちゃいます。

田村：

これは大人でも難しいなあ。

藤井：

正解は・・・「化学車」

田村：

化学車は水で消火できない油の火災や、化学製品が燃えているような火災を特殊な泡で消火するための消防車なんだ。

藤井：

車の屋根についている放水銃を操作して、危険で近寄れない場所へ薬剤の泡を飛ばして火を消すのよ。

なんと、この放水銃で20mから30mくらい離れたところへ飛ばせるの。化学工場やガソリンスタンドの火事にこの車は使われるのよ。

そして、この化学車には、熱くて近づくことができない火災などで隊員を守るための「耐熱服」も搭載されているわ。

消防隊員：

水では消火できない火災でこの車が活躍するんだ。

この化学車は吹田市の中でも化学工場が多い南消防署に配置されているんだ！

藤井：

次の問題は簡単！

これはどんな働く車かな？ ヒントはこのサイレン！

田村：

これは簡単やね。

藤井：

正解は・・・、そう！「救急車」！

田村：

急病人やけが人のいる場所まで行き、救命処置をして素早く病院まで送り届けるのが救急車だ！

吹田の救急車は全部、救急救命士さんが高度な処置を行うための機材を搭載した高規格救急車なんだ！

藤井：

救急車の中には、心臓の動きを見るための心電図装置や吸引器など人命救助のためのたくさんの機材が載っているのよ。

119番通報が入ってから、素早く正確に動くための装置がいっぱい詰まっているのがこの車なのね。

救急隊員：

この救急車で素早い処置をして病院へ運びます。
みんなの命を守るために頑張るぞ！！

藤井：

そして、吹田市には「消防のはたらく車」の他にも大阪府で初めて設置された「人命救助のためのはたらく乗り物」があるのよ。それがこちら！！

田村：

空からいち早く病人やけが人を大きな病院へと運ぶ事ができる救急医療用ヘリコプター、それがドクターヘリだ！

藤井：

ドクターヘリには医療用の機材と救急医療の専門のお医者さんや看護師さんが乗っているのよ。

ドクターヘリの要請があると、約3分で出動するの。だから、いつでも飛び立てるように、操縦士さんと整備士さんがスタンバイしているのよ！すごいわね！

ヘリコプター後ろには大きなハッチがついていて、患者さんを運び込むことができるのよ。

普段は大阪大学医学部附属病院のヘリポートで待機しているんだけど、ひとたび出動となると、時速 200 キロから 250 キロで飛んでいけるのよ。だから、例えば和歌山まで 20 分もあれば到着するんですって。空を飛んでいるヘリコプターの中で、お医者さんたちは命を助ける活動をするのね！

フライトドクター：

病院と違ってヘリコプターの中の治療は大変ですが、患者さんを救うために頑張ります！

藤井：

「消防のはたらくくるま」面白かった??まちで見かけたら応援してね！

田村・藤井：

まったね～～！！！！

映像	内容
スタジオ	<p>田村： 「まったねー！」って言って、すぐ出てきたね。</p> <p>藤井： そうですね。 今回は子供向けVTRということで、ちょっとタッチを変えてお送りしましたが、大人が見ても「カッコいい！」って思う車が多かったですよね。</p> <p>田村： やっぱり、ああやって紹介してもらえると凄さも分かるし、「こういう機能を持ってるんや」とか。 確かに「化学」って書いてあるやつ見たことあるな。</p> <p>藤井： 化学車。そうですね。</p> <p>田村： 役割知らなかったけど、「なんで『化学』って書いてあるのかな？」とか思ってたので、嬉しいですね、教えてもらえると。 しかも、ヘリコプター凄くないですか？</p> <p>藤井： そうなんですよ！ あれって、大阪府では吹田にある、あれ1台だけなんですって。</p> <p>田村： え！大阪全部で？ すごいやん、吹田。大阪初やし、未だにあの1台。 責任重大なことを担ってるわけですね、吹田市が。</p> <p>藤井： 心強いですよね。 いろんな消防車両を紹介しましたが、他にも気になる「働く車」ってありますか？</p> <p>田村： ゴミ収集車とか。ゴミ収集車の中とか、どうなってるか知りたいですね。 クラッシュしたやつの行き先を知りたい。中がどうなってるのか。 あとは、道路を掃除する車。</p>

藤井：

清掃車。

田村：

あんなんとかも見てみたいし。

藤井：

また特集してほしいと思います。

以上、今回の特集は「消防のはたらくくるま」を紹介しました。

VTR_ワンポイント手話（1分）

映像	内容
VTR	<p>藤井： 続いては「吹田の自由研究」 皆さんは「我が町吹田の味」と聞いて、何を思い浮かべますか？ 今回は田村さんの地元、山田のみなさんに思い出の「吹田メシ」を聞いてきました</p> <p>女性1： 「マルタ」っていうお好み焼き屋さんのポテトを小学生の時に 100円だったんで、100円のポテトを食べてました。</p> <p>スタッフ： そのお店って今もあるんですか？</p> <p>女性1： 今もあります。</p> <p>スタッフ： 今も食べたいとかは？</p> <p>女性1： 時々食べたりします。</p> <p>女性2： 家の近くの焼肉屋さん「いやしん坊」さん。 小さい時は両親に連れて行ってもらったり、今は自分の子どもと行く。 決して安くはないんですけど、やっぱり美味しいんで、なんか特別な日に、 誕生日とかなんか、お祝いの時、七五三とかそういう時に利用してます。</p> <p>女性3： 吹田駅のビール工場の前の商店街にある唐揚げ？鶏付きの…「とり信」！ 「とり信」の唐揚げが好きでした。</p> <p>スタッフ： おうちはその近くやったんですか？</p> <p>女性3： いや、違うかったんですけど、おばあちゃん家の行き道のところにあって、 よく通ってたんで車の中でかじったりして食べてましたね。</p>

女性4：

パンが好きで友達とよく食べに行ったりするんですけど、
サニーサイドのパン屋さんがとてもオシャレで、子どもが遊ぶ所とかも
あったりして友達と行って、それがすごく良かった思い出があります。

(子どもに) あんパン好きやな？

子ども：

好きー！

女性4：

好きやなー。

女性5：

この下ったところの「松坂牛麺」

有名なのは麺の上に松坂牛が乗ってて真っ赤なんですけど、出汁をかけて
茶色になっていってそれをほぐして食べるっていう麺ですね。あっさり系。

スタッフ：

ラーメン？

女性5：

はい、ラーメンの一種かな？

ここの図書館でよく友達と勉強するんですけど、
そのあとにご褒美みたいな感じで。

男性1：

今、吹田に住んでるんですけど、大学の頃も吹田の関西大学に行ってて、
「GB'Sカフェ」っていう。

オムライスあるじゃないですか。それがめちゃくちゃ美味しくて
学部の友人数人とよくそこに食べに行っていました。

結構強めのお酒がたくさんあって、それを飲んで記憶を失って
大学の前でひっくり返った。

吹田に引っ越して来たのが去年の5月くらいで、転勤族であっち行ったり
こっち行ったりしてて。帰ってきてまだ行ってないので、
そのうち行きたいなーと。家族も連れて行こうかと。

映像	内容
スタジオ	<p>田村： なるほど！いろいろ出てきた！</p> <p>藤井： 地元の山田なので、ご存知のお店もたくさんありましたね。 田村さんにとっての「吹田メシ」って何かありますか？</p> <p>田村： 僕は一番最初に出た「マルタ」が。 親が居なくて兄弟3人で暮らしてた時に「今日の晩ご飯どうしよう？」って なったら、「マルタ」に晩ご飯を僕がいつも買う係で買いに行ってる というのがしょっちゅうやったので。</p> <p>藤井： じゃあ、しょっちゅうあのお店に行ってたんですね。</p> <p>田村： 「味の向こう側」とかいう前。まだギリギリお金があった時。</p> <p>藤井： みなさんにもうかがった「吹田メシ」。 「マルタ」のものもありますが、スタジオにご用意しました～！</p> <p>田村： やったー！</p> <p>藤井： 「マルタ」からは、ポテト餅とマルタ焼き、 そして、スタッフ一番人気「とり信」のから揚げをご用意しました。</p> <p>田村： やったー！ お好み焼き食べていいですか？ 嬉しすぎる。 うわー、懐かしい！全然変わってない。</p> <p>藤井： じゃあ、私も田村さんの思い出の味をいただきます。</p> <p>田村： 旨いわ！かつお節にソース染み込んでる独特の。</p>

藤井：

いただきます！うん！おいしいですね！
地元のお好み焼き屋さんの味っていう感じで、すごくおいしいですね！

田村：

何か特別なことはないんですけど。

藤井：

確かに、揚げ玉がきいてますね！
唐揚げもいきましようか？

田村：

いただきます。旨い！めっちゃ旨い！
ジューシー！冷めても美味しいやつ！
これくらい食感があると、お肉の旨さも分かって美味しいですね。
これは旨い。

藤井：

今回は山田のみなさんにお話を聞きましたが、聞く場所によって、
みなさんの思い出の味って変わってくるかもしれないですね。

田村：

そりゃ違うよ。

藤井：

江坂とか聞いても違う結果になりそうですよね。

田村：

そりゃそうやわ。

藤井：

いろんな場所で思い出の「吹田メシ」を教えてもらいたいですね。

田村：

うん、知りたい！みんなで行きましょう。
打ち上げで「いやしん坊」行こう！

藤井：

そうですね。節目に行きたいなと思いました。
吹田のみなさん、山田のみなさん、ありがとうございました。
以上「吹田の自由研究」でした。

田村裕のすい散歩

田村：

どうも。「すい散歩」の時間でございます。
今回も山田駅からお送りさせていただきます。
さあ、もうホントに様変わりしましてですね。
僕が住んでた頃の面影ゼロという、マジで地元感が全くない。
こんなことあるんですね、ほんまに。
人生で初めて記憶のある中で電車乗ったのはここなんですよ。
山田駅から乗ったのが人生で初なんですけども、
もはや何駅かわからないという…。

のびのび子育てプラザ、カンファレンス・チャイルドケア・プラザ。

おいしい？ 何がおいしい？ お弁当？

お名前は？

女の子

たーた たーた

女性（母）

ほのちゃん2歳

田村

ほのちゃん？

ほのみちゃん美人ですね。

女の子

うん

田村

自覚あるんだね。

ほのみさん、座右の銘は？

座右の銘はなんですか？

女の子

これ。

田村
座右の銘、これ？（笑）
ウイナー？
大きくなったら何になりますか？

女の子
これ

田村
これ？ ウイナー？
そうだよね～。座右の銘「ウイナー」だもんね～

田村
どうぞ。

ありがとう～。ごめんね～。バイバイ。
またね～、イエイ！

田村
こんにちは。すいたんだよ。すいたんです。おっ！笑った！
すいたん持った瞬間、笑いましたよ。ひろむくん、座右の銘は？

女性（母）：
バナナです。

田村：
座右の銘バナナ？
好きな歴代総理大臣はいますか？
「黙れ！マイクを向けんじゃねえ」と。

女性（母）：
結構人見知りするんです。

田村：
マジですか？え？全然そんな感じが…

女性（母）：
本当ですか？

田村：
ないですよ？みんなにこう笑顔で…。

「すいたん」から入ったからよかったんかな？

女性（母）：

そうやと思います。よかったなー。

田村：

大きくなって「お母さん、これ何？」って言わんといてね。

女性（母）：

はい！額に入れて飾ります。

田村：

「バナナって何？」て言わんといてね。

田村：

続いては、吹田の街で行われた出来事などをご紹介します
「吹田のトピックス」です。

藤井：

今回も2つの話題をお届けします。

VTR

ナレーション・(藤井)

1月26日、メイシアターで「伝統文化教室フェスティバル」が開催されました。

会場には日本の伝統文化に触れてもらおうといろいろなコーナーが設けられました。

こちらは着付けコーナー。

そして生け花のコーナーや生け花の展示もありました。

茶道のコーナーでは、茶道教室に通う子どもたちが点てたお茶を頂く

「お茶席体験」や、お茶の点て方や頂くときの作法を本格的に学んだりできる体験コーナーがありました。

また、お茶席で頂く和菓子を作れるコーナーでは、

色の付いた餡を練り合わせて丸め、パーツをのせたり模様を描くなどして、可愛らしい和菓子を作っていました。

そして、台の上の的に扇を投げて落とし、落ちた形で点数を付けて競う

日本の伝統的対戦型ゲーム「投扇興」などもおこなわれ、

子どもたちは楽しんで日本の伝統文化に触れていました。

ナレーション・(藤井)

2月2日、ゆめつながり未来館「ゆいぴあ」で
「JAXA コズミックカレッジ」が行われました。

「コズミックカレッジ」とは、宇宙をテーマにした実験や工作などの
体験を通して、子どもの好奇心や冒険心を育む宇宙教育プログラムです。

この日のテーマは「ペンシルロケットを飛ばそう！」
長さ約23センチのロケットをペーパークラフトで作ります。
子供たちは思い思いのロケットを作っていました。

そして、いよいよ完成したロケットの発射実験。
ロケットの羽や発射の角度、ポンプの種類や使い方などから
「どうやったらロケットが遠くまで飛ぶのか」子供たちが自分で考えて、
試行錯誤を繰り返しながら実験を進めました。

男の子1)

軽くするために、のりをなるべく少なくした。

男の子2)

ここ曲げた。

スタッフ)

羽？ 羽曲げてどうなった？

男の子)

くるくる回るようになった。(飛距離が) ちょっと長くなった

ナレーション(藤井)

最後には、うまくいった事例の共有も行われ、
子供たちは楽しみながら科学の不思議を感じていました

田村：

へえー。めっちゃ良い！

藤井：

そうですね。子どもが楽しめるイベントがたくさんありましたね。

田村：

これは全て良い影響しかないね。

藤井：

自分で考えて工夫して、前のめりでやってみましたもんね。

田村：

日本の伝統文化も知っとくだけで、ちょっと和の心とか、何か日本の文化に次に触れた時に、すごい差が出ると思うんですよ、子どもやったら。良い機会ですよ。

藤井：

以上、「吹田のトピックス」のコーナーでした。

番組ではツイッターで情報も発信しています。

番組ブログやロケ情報などもアップしていますので

是非「J:COM チャンネル北摂エリア」のアカウントをフォローしてください。

田村：

吹田に興味を持っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、また次回お会いしましょう。さようなら！